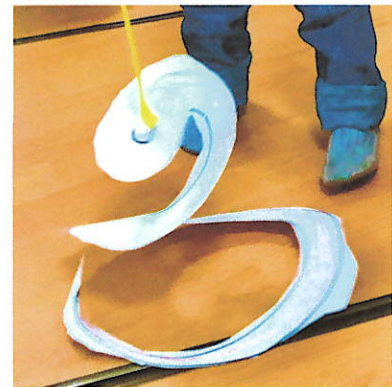


おうちアートのじかん ⑥

おもい おもいに ころを ひろげて
つくって あそび まわして あそぶ
じかん となりますように！！

くるくるびよん

画用紙や紙皿をうずまき状にハサミで切って、ぐるぐるまわる凧のようなものを作ります。持ち上げて、バネのようにびよんびよんとしたり、走ったり風がふいたりした時にくるくるっとまわります。



●ざいりょう

- 画用紙や紙皿（15～20cmくらい）
- クレヨンやペンなどの描画材
- リボン、毛糸などのひも類
- ハサミ
- セロハンテープ

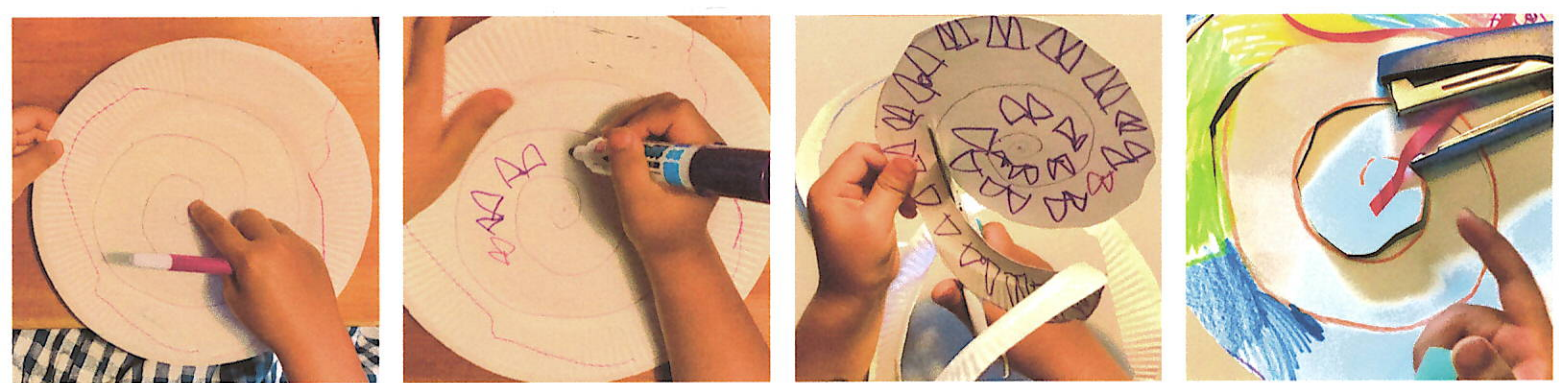
===おうちにありましたら===

おりがみや丸シールなど
(模様をつけたり、装飾したり)
ホチキス (紐をつける時に)



●つくりかた

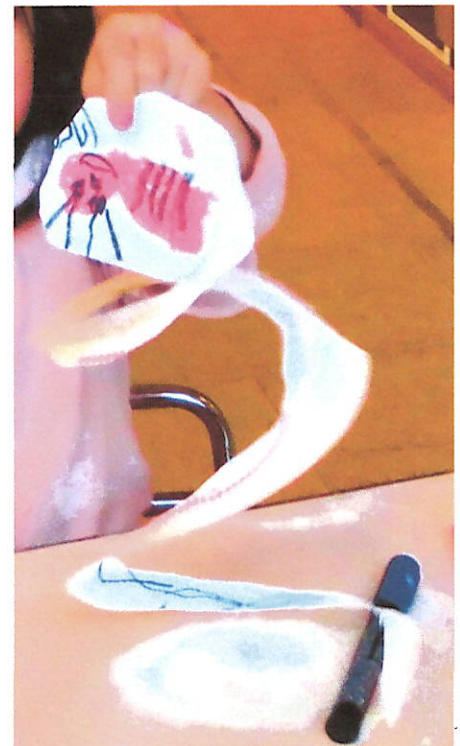
- ①画用紙などに真ん中から外側に向かって渦巻きを描きます。
- ②クレヨンやペンなどで絵や模様を描いたり、シールなどを貼ったりして模様をつけます。
- ③絵や模様を描いたら、渦巻きに沿ってハサミで切ります。
(ハサミを使う時は、紙を持っている方の手に気をつけてください。)
- ④リボンなどのひもを、渦巻きの中心にセロハンテープやホチキスで留めます。



●あそび

凧のように紐を持って走ったり、風を受けたり、風がなくても新体操のリボンのように回したりすると、描いた絵がくるくるまわります。また、広告紙などの紙を棒状にまるめて持ち手を作ったり、折り紙などで耳やしっぽをつけたり、何かに見立てることもあるかもしれません。

紙皿の丸い形からイメージが広がり、お面やメダルを作ったり、紙の立体工作へと展開していくこともあるかもしれません。



*モビールとして天井などから吊り下げてみるのもおすすめです。

自分の作ったものを視点を変えて見上げたり、ゆらゆら揺れている様子を見たりして、子どもの関心が広がるきっかけになればと思います。